

〔様式2〕

令和7年度 第2学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

東京都北区立王子小学校

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
8項目全てにおいて目標値は上回っている。区の平均正答率においては、「はなしをききとる」「おくりものについてはなしあう」は下回っていた。また、「せつめいぶんをよみとる」「文しょうをかく」においても、相談の様子から内容を読み取る力に課題があると考え。経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にする力や、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える力に課題があると考え。	全ての観点において、目標値、全国正答率とも上回っている。区の平均正答率においては思考・判断・表現が下回っていた。「自分の思いや考えが明確になるように文章を書き主体的に伝える力」に課題がある。	「知識・技能」が高く、「思考・判断・表現」が低いことから、文章を書き、文章を読み返す習慣を付けるとともに文章に対する感想を伝え合い、お互いの文章の内容や表現のよいところを見付ける力を付ける必要がある。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
各項目とも目標値を上回ってはいるが、区の平均正答率では、4項目が平均を下回っている。位取り、問題作りで示された式の意味や必要な場面を読み取って、減法の場面について答えを求めることに課題があるので、適切な文章を作る練習をする必要があると考え。	全ての観点において、目標値、区・全国正答率とも上回っている。全体的には、よくできているが、個人差があるため、日頃の授業内で丁寧支援していく必要がある。	「知識・技能」の中でも、特に反復して力が付く内容に課題があることが分かる。授業全体の中で、基礎的な問題に繰り返し取り組む時間を持ち、知識の定着を図る必要がある。

〔様式2〕

令和7年度 第3学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
8項目全てにおいて目標値も区・全国の平均正答率も上回っている。しかし、「ことばの学しゅう」の内容については、共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係を理解することに課題が見られた。	全ての観点において、目標値、全国・区平均正答率を上回っている。しかし、「知識・技能」の項目は、前年度校内平均正答率より0.7ポイント下回っている。	内容・観点の全ての項目において目標値、区・全国平均正答率ともに上回っている。しかし、領域別正答率をみると、情報の扱い方に関する項目は、目標値より5.5ポイント下回っていた。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
8項目全てにおいて目標値、区・全国の平均正答率ともに上回っており、全体的に基礎学力は身に付いていると考え。しかし、「長さ・かさ」における、「かさ」を表す問題では、全国正答率を下回っており、他の項目より定着が低いと考える。水のかさの単位や量感について復習していく必要がある。	全ての観点において目標値、全国・区平均正答率を上回っている。しかし、「知識・技能」の項目は、前年度の校内・区の平均正答率より下回っている。また、「思考・判断・表現」の項目は、今年度の区平均正答率が前年度より3.4ポイント上がっているにもかかわらず、前年度の校内平均正答率より0.3ポイント下回っている。	内容・観点の全ての項目において目標値、区・全国平均正答率ともに上回っており、全体的に算数の正答率は高いといえる。しかし、高いとはいえ、結果から見ると基礎的な計算力や図形・かさに関する知識に課題が見られる児童もいる。そして、全体としての結果はよくても、個人差が大きく、個別指導や支援が必要である。

[様式2]

令和7年度 第4学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
8項目全てで、目標値を上回ったが、2項目は区の平均を0.2から2.7ポイント下回っている。特に「文章を書く」は目標値と比べても4.8ポイントほどしか上回っておらず、区の平均からは2.7ポイント下回っているので、文章を書く力を高めていくことが今後の課題である。	全ての観点で目標値、全国・区の平均正答率を上回っている。しかし、「知識・技能」の項目は、前年度の校内・区の平均正答率より1.2ポイント下回っている。「文章を書く」では目標値を上回っているもの無回答率も高いことから、自分の思いや考えを言語化し、文章を書くことに課題がある。	「文章を書く」と「思考・判断・表現」に課題が見られることから、自分の考えを言語化することに自信がもてなかったり、苦手意識を感じていたりすると考えられる。日常生活にスピーチ等の活動を取り入れ、日常的に考えや思いを言語化させ、主体的に文章を書くことができるようになることが必要である。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
9項目全てで、目標値、区・全国の平均正答率ともに上回っている。全体的に基礎学力は身に付いていると考えられる。概ね10ポイント以上上回っているが、「たし算・ひき算」と「わり算」は、目標値との差が約5ポイントとなっている。	「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、目標値も区の平均正答率も上回っている。しかし、「思考・判断・表現」の項目は、前年度の校内・区の平均正答率より下回っている。	目標値、区・全国平均正答率を全て上回っており、大きな課題は見られない。しかし、かけ算の筆算に出てくる言葉の意味を問う問題や、2kgを超えないように選んだ本の説明をする問題の正答率が低かったことから、自分で考えて表現する力が弱いと考えられる。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
11項目全てで、区の平均正答率を上回った。区の設定する目標値と比べても、ほぼ全ての内容で上回っているが、唯一「じしゃくのせいしつ」のみ、目標値を3ポイント下回った。	「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、目標値も区の平均正答率も上回っている。概ね5ポイント以上上回っているが、「思考・判断・表現」は、目標値との差が3.5ポイントとなっている。	内容別に見ても観点別に見ても、大きな課題は見られない。「じしゃくのせいしつ」からの出題は2問で、両方とも「思考・判断・表現」の問題であった。やや長文の問題文を読み取り、そこから分かったことをもとにして、考える力が問われていた。

〔様式2〕

令和7年度 第5学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
ほとんどの内容で目標値を上回っているが、「調べたことをもとに文章を書く」の単元は、目標値を下回っていた。書く内容の中心を明確にして文章の構成を考えたり、自分の考えとその事例との関係を考えながら書いたりする点に課題が見られる。	「知識・技能」「思考・判断・表現」のどちらも目標値を上回っている。しかし、どちらの観点も5.5ポイント以上、区平均値を下回っているため、基礎的な知識や技能の定着を図りつつ、自分の考えをもって文章の構成を組み立てて書く力に課題がある。	「調べたことをもとに文章を書く」「思考・判断・表現」に関して課題が見られることから、自分の考えをもち、それに対して事実を交えながら言語化することが難しいと感じていると考えられる。日頃から自分の考えをもたせる場を設定したり、それに対する根拠や事実を見付けて取り入れたりするような活動をしていく必要がある。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
ほとんどの内容で目標値を上回っているが、「自然災害からくらしを守る」の単元は、目標値を下回っていた。用語を覚えることはできているが、その意味や目的と関連させて理解する点に、課題があると思われる。	「知識・技能」の知識面では目標値を上回っているが、資料を読み取る技能面で目標値を下回っている。「思考・判断・表現」でも複数の資料を結び付けて考えを表現する問題で目標値を下回っているため、資料から事実を読み取る力に課題がある。	ゴミの出し方や水防倉庫の役割などを考える問題での正答率が低かった。授業で学習したことと日々の生活を結び付けられるように、普段の学習から意識していく必要がある。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全ての内容で目標値を上回っているが、全体的に区平均値にいる。計算問題や小数・分数についての得点は高い傾向が見られるが、割合、グラフや図形の問題がやや低い傾向にある。単純な四則計算だけでなく、考えて読み取ることに課題が見られる。	3観点間で大きな差異は見当たらない。しかし、知識・技能の観点で区平均値よりも低いため、基礎・基本となる知識の定着のために繰り返し学習する姿勢を身に付けさせる必要がある。	正答率では、目標値、全国平均値を上回り、よい結果だったといえる。しかし、細かく見ると、割合やグラフ、図形など様々な課題が見られた。日々の学習の中で読み取って考えたり、色々な問題に触れて解いたりする必要性が求められる。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
ほぼ全ての内容で目標値を下回っている。特に「電気のはたらき」の乾電池のつなぎ方とその結果に関する理解や、「物のあたたまり方」の学習を生活に結び付けて考え、記述する問題において正答率が1/5程度であり、課題であると考えられる。	「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに目標値を下回っている。特に、活用問題において50ポイントを下回っているため、課題があると考えられる。	解答を短文で書いたり、考えを記述したりする問題で無回答が3割見られた。また、誤答・無回答合わせて5割を超えている結果が見られた。内容・観点を超えて、自分の考えをもち、考えを表現するといった部分に課題があると考えられる。

〔様式2〕

令和7年度 第6学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
多くの内容で全国平均値や区の平均値を上回っているが、「文章を書く」項目は、全国と区の平均値よりも下回っていた。内容を理解できずに書くことができない子よりも、無記入や時間切れ、急いで取り組んで内容を理解していないケースも見られた。	前年度の校内や区の結果と比較するとポイントが低い傾向であった。中でも知識・理解に関しては、理解度に大きな差があったと考えられる。また、設問に対する正しい答えが出なかったことも推察された。	授業の中で、自分の考えや作文を書く際には、文章を推敲することを繰り返し指導する。自分の意見や考えたことを他者と話し合う時間を多く設定することで、問いや考えを更に深め、関心や聞き取る力を高めることができると思う。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全ての項目で、全国平均値や区の平均値を上回っている。前年度の傾向から「国土の自然などの様子」の正答率が低かったが、約9ポイント目標値より高かった。	知識・技能の正答率は、全国と区を比較すると5ポイント以上高い数値となった。領域ごとにゲストティーチャーを呼んで、当事者から実際の話の聞いたり、課題の解決策を考えたりしたことが結果につながったと考えられる。	今年度も継続して学習内容の定着、能力を高めるために、ゲストティーチャーを活用したい。また、高学年の学習では、社会的用語や語句が多く出てくるので、言葉の意味や具体的な事実を丁寧に調べさせていく必要がある。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
多くの内容で全国平均値や区の平均値を上回っていた。「分数の計算」、「円グラフや帯グラフ、平均」は区の平均値を下回った。学習の得意、不得意で理解度に個人差が見られた。少し注意すれば防げる誤答も多い。	どの観点も区や全国値の平均値を上回っている。少数ではなく、学級で授業を行っていたため、「知識・技能」が平均値との差が大きく、「思考・判断・表現」が小さくなったと考えられる。	計算の技能が必要な問題や自分の考えを説明する問題のほとんどが、目標値を上回っていた。割合を問う問題に苦手意識が見られたため、復習を充実させ、学習内容の定着を図っていく必要がある。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
多くの内容で全国平均値や区の平均値を上回っているが、「人のたんじょう」、「ふりこのきまり」の項目は、全国と区の平均値よりも下回っていた。実験のやり方や内容の理解度に差があるが、正しく設問を読み取ることができていないことも推測された。	観点別正答率は、全国や区と同等の数値であった。中でも思考・判断・表現については、高い数値ではあった。実験が受け身になったり、調べただけで終わったりしやすい内容の理解が低かった傾向が見られる。	実験、観察から見られた事象を自分で記録をし、整った文章や表にまとめる活動を増やして、知識を定着させる。また、考察をするときには、一度問題や予想に立ち返り、問題解決的な視点を養う。
英 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
区の平均値を下回る内容が多かった。特に「英作文」では、全国も区の平均値も下回った。多くの項目で目標値よりも高い正答率は見られた。	観点別で見ると、区や全国の平均値よりも上回っているが、内容別で見ると、書く項目の正答率が低いことが分かった。書くよりも聞いたり、対話したりする活動を中心に取り組んでいたことがその結果につながった。	観点別結果では目標値や全国平均正答率をどの項目も上回っているが、内容に関しては、個人差が大きく、また偏りが見られる結果となった。特に「書く」問題に関しては顕著に表れた。基礎・基本の学習を繰り返し行い、定着を図る必要がある。